

四日市市総合計画中間見直し支援業務委託 公募型プロポーザル

審査結果について

1 参加者名

株式会社三十三総研
一般社団法人地域問題研究所

2 審査結果

受託候補者：一般社団法人地域問題研究所
次点候補者：株式会社三十三総研

3 審査委員会 委員名簿（順不同・敬称略）

委員長	江口 忍	名古屋学院大学	現代社会学部	教授
委員	荒木 秀訓	四日市市	政策推進部長	
委員	林 雄士	四日市市	総務部 ICT戦略課長	
委員	山口 千恵	四日市市	健康福祉部 福祉総務課長	
委員	杉本 幸代	四日市市	こども未来部 こども未来課長	
委員	内糸 豊	四日市市	環境部 環境政策課長	

4 審査日時

第1、2次審査：
令和6年3月11日（月）
13時15分 ～ 15時05分（出席委員 6名）

※実施要領に基づき参加意向申出者が5社以下であったため、2次審査を1次審査と併せて行いました。

5 審査基準

本件プロポーザルの審査にあたっては、審査委員会が別に定めた「四日市市総合計画中間見直し支援業務委託公募型プロポーザル評価項目、評価基準及び配点」に従って、厳正な審査を実施しました。

本審査基準については、次のとおり示します。

**四日市市総合計画中間見直し支援業務委託
評価項目、評価基準及び配点**

○企画提案書類に関する審査
(評点)

A(係数 1.0)	B(係数 0.8)	C(係数 0.6)	D(係数 0.4)	E(係数 0.2)
優秀である。 高度の能力を有している。	満足できる。 十分な能力を有している。	平均的である。	物足りなさを感じる。 能力が若干乏しい。	まったく満足できない。 任せることが不安である。

審査項目		審査の視点		配点
企画提案書類	業務 実施方針	実施方針	業務に係る課題認識が適切であり、課題に対する取組姿勢や実施方針が適切であるか。	15
		実施手順	業務内容を把握し、それを踏まえた上で示す業務の実施手順に妥当性はあるか。	
	業務工程表		業務量を適切に把握しているか。工程計画に妥当性はあるか。	10
	特定 テーマ 1	的確性 実現性 独創性	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容および手法には、実現の裏付けとなる実績や根拠が明示されているか。 ・提案内容および手法に独創性があり、提案者が有するノウハウなどが活かされているか。 	30
	特定 テーマ 2	的確性 実現性 独創性	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容および手法には、実現の裏付けとなる実績や根拠が明示されているか。 ・提案内容および手法に独創性があり、提案者が有するノウハウなどが活かされているか。 	30
	サービス 提供能力	実施体制 業務実績	業務を実施するにあたり、事業者として十分な経験、知識、ノウハウを有しているか、またその為の適切な人員および体制を確保しているか。	30
	配置予定者 の経歴等	遂行能力	配置者について、管理者および主担当者は、本業務に十分な知見と経験を有しているか。	
	参考見積	コストの 妥当性	提案内容に対し、妥当な見積金額を提示しているか。	5
評価点				120

○プレゼンテーション及びヒアリングに関する審査
(評点)

A(係数 1.0)	B(係数 0.8)	C(係数 0.6)	D(係数 0.4)	E(係数 0.2)
優秀である。 高度の能力を有している。	満足できる。 十分な能力を有している。	平均的である。	物足りなさを感じる。 能力が若干乏しい。	まったく満足できない。 任せることが不安である。

審査項目			審査の基準	配点
プレゼンテーション及びヒアリング	専門技術力	専門技術力の確認	プレゼンテーションを通して、該当分野について、高い専門性を有しているか。	10
	取り組み姿勢	業務への取組意欲	業務に対する取組意欲が強く感じられるか。	10
	コミュニケーション力	質問に対する応答性	質問を通して、応答が明快、かつ迅速であるか。	10
	特定テーマ1	企画提案に係る説明	企画提案に係る説明が的確であり、提案における事業者の意図やアピールポイントをわかりやすく伝えられているか。	25
	特定テーマ2	企画提案に係る説明	企画提案に係る説明が的確であり、提案における事業者の意図やアピールポイントをわかりやすく伝えられているか。	25
評価点				80

6 選考理由

受託候補者に選定された一般社団法人地域問題研究所は、全体的に業務実施内容についてより具体的な提案がなされていること、また、次期総合計画とのつながりを意識していることが評価されました。

特に、市民意見の聴取については、まちなかインタビューや高校生ワークショップなどの追加提案を行っており、未来の四日市市を担っていく若者や子どもたちの意見聴取の手法について具体的なイメージをもって提案できているほか、聴取した意見を、どのように今回の見直しに反映していくのかをわかりやすく説明することができていました。

一方、次点候補者に選定された株式会社三十三総研は、近年の社会情勢の変化や、そ

の変化が総合計画に与える影響について、詳しい分析ができている一方で、市民意見の聴取の具体的な手法や進め方について、若者を意識した提案が不足していました。

こうしたことから、一般社団法人地域問題研究所を本業務の受託候補者として選定しました。

受託候補者は、業務を遂行するにあたり、提案内容を的確に実施できるよう十分な実施体制を整えるとともに、ワークショップのファシリテーターの選考などは今までの業務実績に捉われることなく幅広い知見を持って進めていくことを期待します。